

くあなたの声が四谷を変えらるく

四谷地区協議会

第二期地区協議会ご報告とアンケート集約結果

そして第三期地区協議会に向けて



ごあいさつ

四谷地区協議会 会長 大熊 勝

日頃、地域の皆様には四谷地区協議会の活動に温かいご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。当協議会は、平成17年に区の呼びかけにより「地域の方の区政参画の場」「地域の共通課題を話し合い解決する場」をつくるため、地域の特性を踏まえた自主的な活動体として発足しました。この3年間で、様々な事業を展開し地区協議会活動の礎を築いたと認識しています。

平成21年度に3期目を迎えるにあたり、「協議会に地域が何を期待し、それにどう応えていくか」、「これまで以上に地域の理解と参加を得るために何をすべきか」等広く地域の意見を伺うことが大切であると考えアンケートを実施しました。ご協力いただきました地域の関係団体の皆様には、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

町会をはじめ地域の諸団体との連携や組織のあり方、活動事業の内容などについてお寄せいただいたご意見を地区協議会全体で受け止め、地域の期待に応えていくために必要な組織構成及び分科会のテーマの見直しを行いました。

「歴史と文化の香りにあふれ、多くの人が集う夢のまち」創りの実現と、四谷地域のますますの発展のため、地区協議会活動へのより一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



地区協議会に寄せて

四谷特別出張所長 佐藤 啓太郎

区では、新宿らしい魅力あふれる豊かな地域社会を、区民自身の手で育み、創り出すことのできるまち、「区民が主役の町」を目指しています。

そうした中で四谷地区協議会は、地域の期待に添って発足してから、四年を迎えようとしています。この四年間の地区協議会は、住み慣れた四谷の中で、「地域の人々が日々の生活を健やかにおくれるまち」、「地域の人々が地域活動に参加し、互いに支えあうまち」をどう創っていくか常に地域の視点で考え、活動されてきました。

今後も、地区協議会の皆様ひとり一人が、地域社会の中で役割を担いながら、いきいきと住み続けられるまちを創っていくための地域のけん引役として活躍されることを期待しております。

地区協議会とは…

第二期四谷地区協議会構成図

〔平成19年5月～平成21年5月〕

【地区協議会の目的】

新宿区の各特別出張所の地区ごとに、「区民の区政参画の場」

「地域課題の解決の場」として『地区協議会』が設置されています。

区民との協働をさらに進め、住民自治の充実を図るため、

区も地区協議会の活動が充実するよう支援しています。

【地区協議会の位置づけ(区との関係)】

各地区協議会と区は、相互に連絡・意見交換を密にし、お互いに対等な立場で協力し合うパートナーです。

【地区協議会の役割】

- (1) 町会などの各種地域団体の情報の共有、ネットワークを構築します。
- (2) 多様で開かれた協議会として、地区内の意見が集約される場とします。
- (3) 地域の日常的課題の解決策を検討します。
- (4) 基本計画等、区の計画に関して、区と意見交換や提案をします。
- (5) 各地域の将来の姿や地域の課題を検討し、区へ提言します。

【四谷地区協議会の構成員】

(50名程度 任期は2年)

- ① 町会・自治会から推薦
- ② 地域活動団体から推薦

青少年育成委員会、民生・児童委員協議会、地域センター運営委員会、PTA、青少年活動推進委員、保護司会、高齢者クラブ、消防団、体育指導員、スクールコーディネーター、その他の団体

- ③ 課題別プロジェクト
- ④ 公募・在勤・在住・在学・在活動者・事業者

役員会

会計・会計監事各2名

●第1分科会

地区の将来の姿・まちづくり

●第2分科会

福祉関連 高齢者・子育て

●第3分科会

みどり・環境・リサイクル

●第4分科会

コミュニティ・文化・スポーツ

●第5分科会

防災・地域安全

課題別プロジェクト

- まち美化
- 仮称「四谷ひろば」(平成17年10月から19年10月まで活動)
- 芝生に挑戦 (平成20年3月末日まで活動)

事務局

(四谷特別出張所内)

第二期 四谷地区協議会活動報告

第1分科会

テーマ「地区の将来の姿・まちづくり」

定例会議
毎月第3火曜日18:30から

四谷地区協議会では「歴史と文化の香りあふれ、多くの人が集う夢のまち」を目指して都市マスタープランに意見書を出しました。そして当分科会ではテーマに基づき地域の将来像をより具体化するために次のような協議と活動をしました。

◆「四谷のお宝さがし」

第1分科会に実行委員会を組織し、楽しく四谷の歴史やお宝を掘り起こし、発表の場を創出しました。(第1回応募23件 第2回応募21件)

◆「四谷地域を識る」ための勉強会

平成20年度は「江戸に学ぶまちづくり」をテーマにして開催しました。

◆「四谷わくわくマップ」

地域の視点を大切にした四谷地域の地図の作成(新宿歴史博物館と協働事業)。

◆「玉川上水を偲ぶ川の流れの創出」シンポジウムに参加し、その後会議傍聴を経て、意見(質問)書を提出しました。

◆「四谷地域を走るコミュニティバス」の情報交換

検討会に出席している委員を中心に情報の共有化を図り、また協議会委員に呼びかけてアンケート回答に協力しました。その他、開設前の地下鉄副都心線の新宿3丁目駅から四谷地域への人の流れを鑑みながら工事現場を見学しました。また、区のパブリックコメントに対する意見書提出等、「地域の輪」を大切に活動しました。



「地域を識る」ための勉強会



“歴史あるお宝”がいっぱい!!

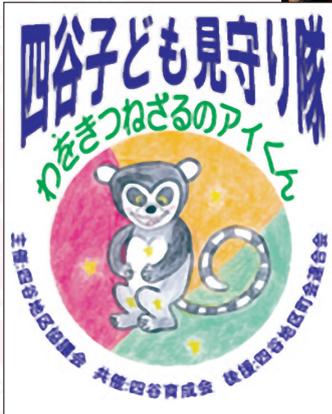
「集う(つどう)」をキーワードに地域の人々が互いに温かなあいさつを交わし、健康でいきいきとした毎日を過ごすまちを目標に様々な地域団体と協働しながら次のような活動をしました。

◆「四谷子ども見守り隊」

地域のおとなが子どもたちの安全のために四谷育成会、町会と連携して校門前や交差点に集います。最初、はにかんでいた子どもも今では元気よく「おはようございます」と声を掛けてくれます。



四谷は明るいあいさつが行きかうまちです！



◆「子どもまち探検」

小さな子どもたちと劇団員さんが地域の人とふれあいながら、四谷のまちの妖怪をさがす「まち探検」では、四谷子ども探偵団が発足しました。

◆「シニア健康体操」

「四谷ひろば」と協働して開催しました。毎週火曜日、たくさん地域の高齢者にご参加いただき、開設間もない「四谷ひろば」も活気にあふれました。

新宿区の提唱する「新たな都市にふさわしいコミュニティの構築」は「集う」から始まると実感しました。



「バランススティックを使った体操風景」

第4分科会

テーマ「コミュニティ・文化・スポーツ」

会議開催
月1回程度 概ね14:00から 開催日はその都度協議

広範囲なテーマに対して目標を絞り、以下のような「スポーツ」と「コミュニティ」の二本の柱で活動しました。

◆「スポーツ」

第2分科会で開催した「シニア健康体操」と、目的を同じくするシニア世代の筋力アップを目指す「転ばぬ先のストレッチ体操」教室をスポーツ交流会と協働で開催しました。スポーツ交流会の活動拠点である、四谷地区の各小中学校に加えて霞ヶ丘町方面の方も参加しやすい教室の定期的な開催を推進しました。

◆「コミュニティ」

四谷地区版便利帳「あなたのまちの情報ガイド」〜四谷特別出張所管内〜を各分科会代表編集委員と協力し発行しました。また、四谷地域の町会、各団体にご協力いただき「協議会に関するアンケート調査」※を行い、今後の協議会組織のあり方を検討する糧としました。

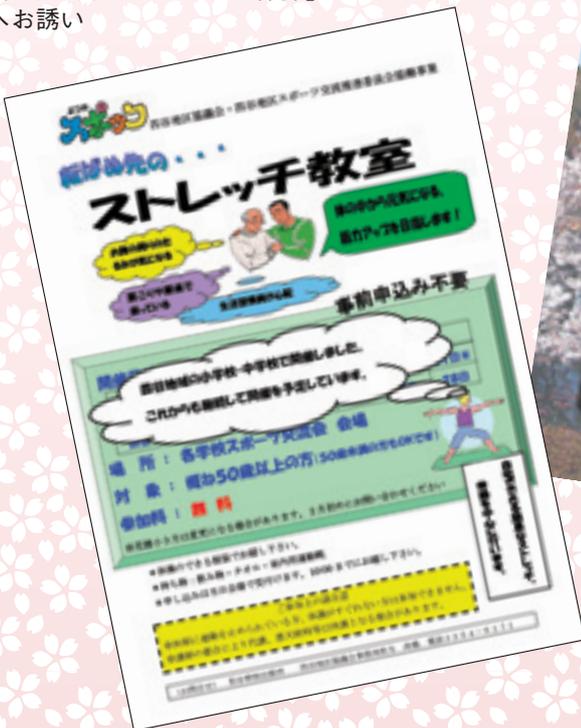
今回、第3期に向けて第4分科会のテーマを整理統合し、より一層活発な活動ができる体制を整えると同時に、広報的役割を「広報担当」部門に移行する提案をしました。

※四谷地区協議会では、このアンケート結果を踏まえ、協議会が地域の連携役を担えるよう第3期に向け組織等を見直しました。



「情報ガイド」は四谷特別出張所で配布中!!

「転ばぬ先のストレッチ体操」へお誘い



◆「防災」

【避難路の検証】

四谷管内を5ブロックに分け、2ブロックのまちを歩きました。「避難場所」等に避難する場合、通常通っている道が安全なのか、扉、看板、放置自転車などに塞がれていないか、避難場所の表示がわかりやすいか等を確認しました。また、夜間・悪天候の中では道がどのような状態になるか想定して意見交換をしました。

◆「地域安全」

【救命講習会の開催】

四谷消防署、四谷消防団にご協力いただき、年間2回「助かる命を共助で救う」をモットーとし開催しました。地域の方に多数ご参加いただき、特に若い人の参加をうれしく思いました。継続を望む声も多く寄せられ、次期も運営を工夫し活動していきたいと考えています。

第3期を迎えるにあたりこのような重要なテーマを地域の関連諸団体と密接に意見交換することを大切と考え、想定外の課題に対しても迅速な対応をしたいという思いから、次期には「課題別プロジェクト」として活動していくことを提案しました。



助かる命を
共助で救う!!



“救命講習会”若い人達の参加がうれしいです

会議開催
課題により1ヶ月もしくは2ヶ月に1回程度。
開催日はその都度協議。開催時間は概ね14:30から

◆「四谷地区駅前放置自転車問題に関する報告と提言」

平成17年より取り組んできた自転車問題の総括として新宿区に活動報告と提言書の提出を行いました。

◆「四谷530デー活動」

地域の皆でまちをきれいにする清掃美化活動を推進するために、春と秋に四谷530デー（四谷大通りの歩道清掃）を小中学生と地域の皆さんで行っています。

◆「ガム取り清掃」

路上を汚している捨てガムに注目して、20年度からガム取り清掃も開始。秋には四谷中学新苑学級の生徒さんと四ッ谷駅コンコースのガム取りをしました。白い敷石がガムの汚れから本来の白さを取り戻して、参加者からは清々しいとの声が聞かれました。



只今、
ガム取り
作業中!!



“四谷 530 デー活動”

◆「四谷区民センター前の花壇の手入れ」

年間を通して地域の皆さんに季節の花を楽しんでもらえる美化活動として四谷特別出張所下の四谷花いっぱい花壇の植え替え維持を行っています。花の手入れはみどりのサポーター（ボランティアさん）や都水道局職員と一緒に行っています。



終了プロジェクト

「芝生に挑戦」

当初の目的を達成し平成20年3月末日をもって活動を終了。現在は「四谷ひろば」の活動の一部として移行し、より発展的に実施されています。正面玄関では手入れの行き届いた「芝生」が皆様をお迎えます。ぜひ、お立ち寄りください！

「四谷ひろば」

平成17年10月から19年10月まで課題別プロジェクトとして活動し、四谷ひろば運営協議会発足に結びつけその役割を終了しました。現在、四谷地区協議会と協働でシニア健康体操を開催するなど四谷ひろばを拠点に、地域連携の輪を絶やさない広範囲な活動が展開されています。

四谷地区協議会アンケート(H20.11)集計結果

調査概要

第3期を迎えるにあたり、これまでの地区協議会活動が、地域・団体からどのように捉えられているかを把握するため、アンケート調査を実施しました。

期間

平成20年11月21日～12月17日

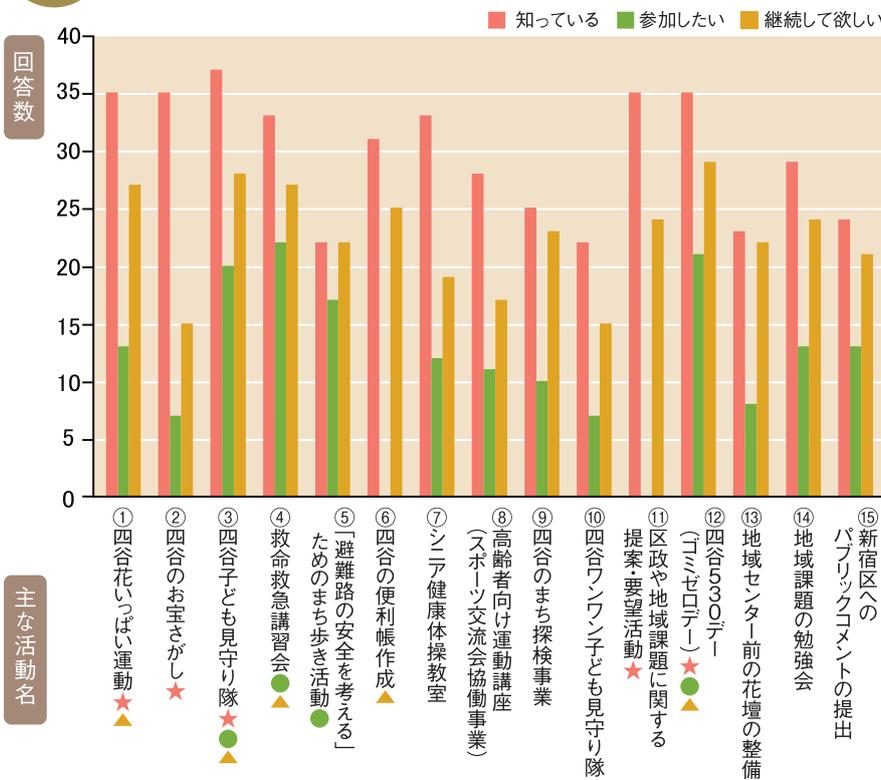
対象

四谷地区の全町会29、地区協議会構成団体17。回答数37

内容

四谷地区協議会の活動の認知度・参加意向、今後の協議会に期待する地域課題、組織及び委員構成

1 活動の認知度・参加意向・活動の必要性

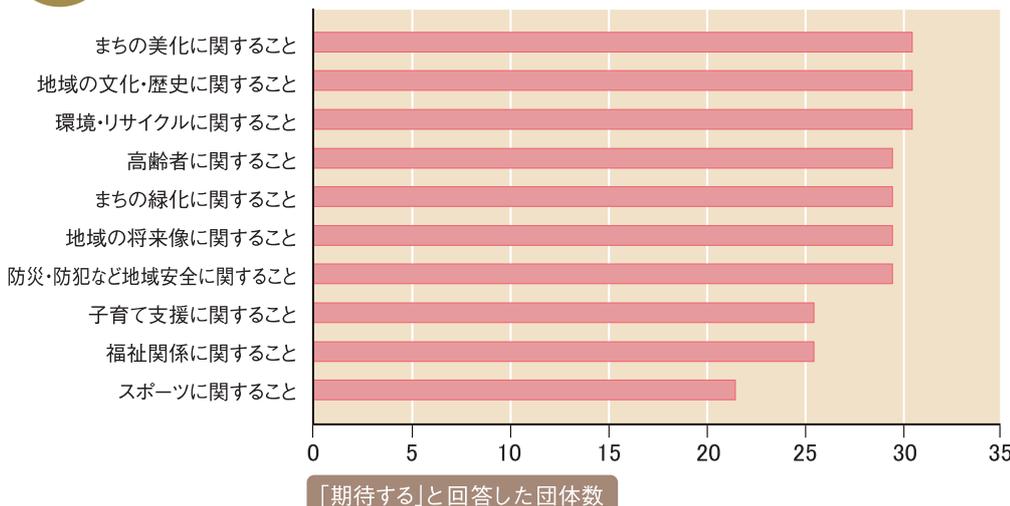


★「知っている活動」として③①②①⑫が上位を占めています。
 ●「参加したい活動」として④⑫③⑤が上位を占めています。
 ▲「継続して欲しい活動」として⑫③①④⑥が上位を占めています。

事業ごとの認知度は高いといえますが、新宿区が行った区政モニターアンケート(H20.11)では、「地区協議会の活動内容の認知度」は22.4%となっており、一般の方の認知度は低いという結果が出ています。

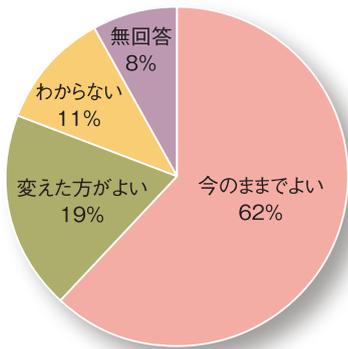
※⑥四谷便利帳作成及び⑪区政等要望活動は年間を通じて実施する活動ではないため、参加意向データは取っていません。

2 今後の四谷地区協議会に期待する地域課題



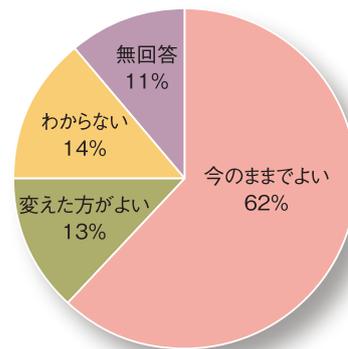
●まち美化、地域文化・歴史、環境リサイクルが上位を占め、高齢者、まちの緑化、地域の将来像、防災・防犯と続きます。

3 組織構成について



●「今のままでよい」が6割、「変えた方がよい」は2割です。
●その他、「類似した事業を行っている」との指摘や「第1分科会と第4分科会は合体、まち美化は第3分科会に吸収し、ほかはそのまま」等具体的な再編に向けたご意見もありました。

4 委員の構成(公募委員)について

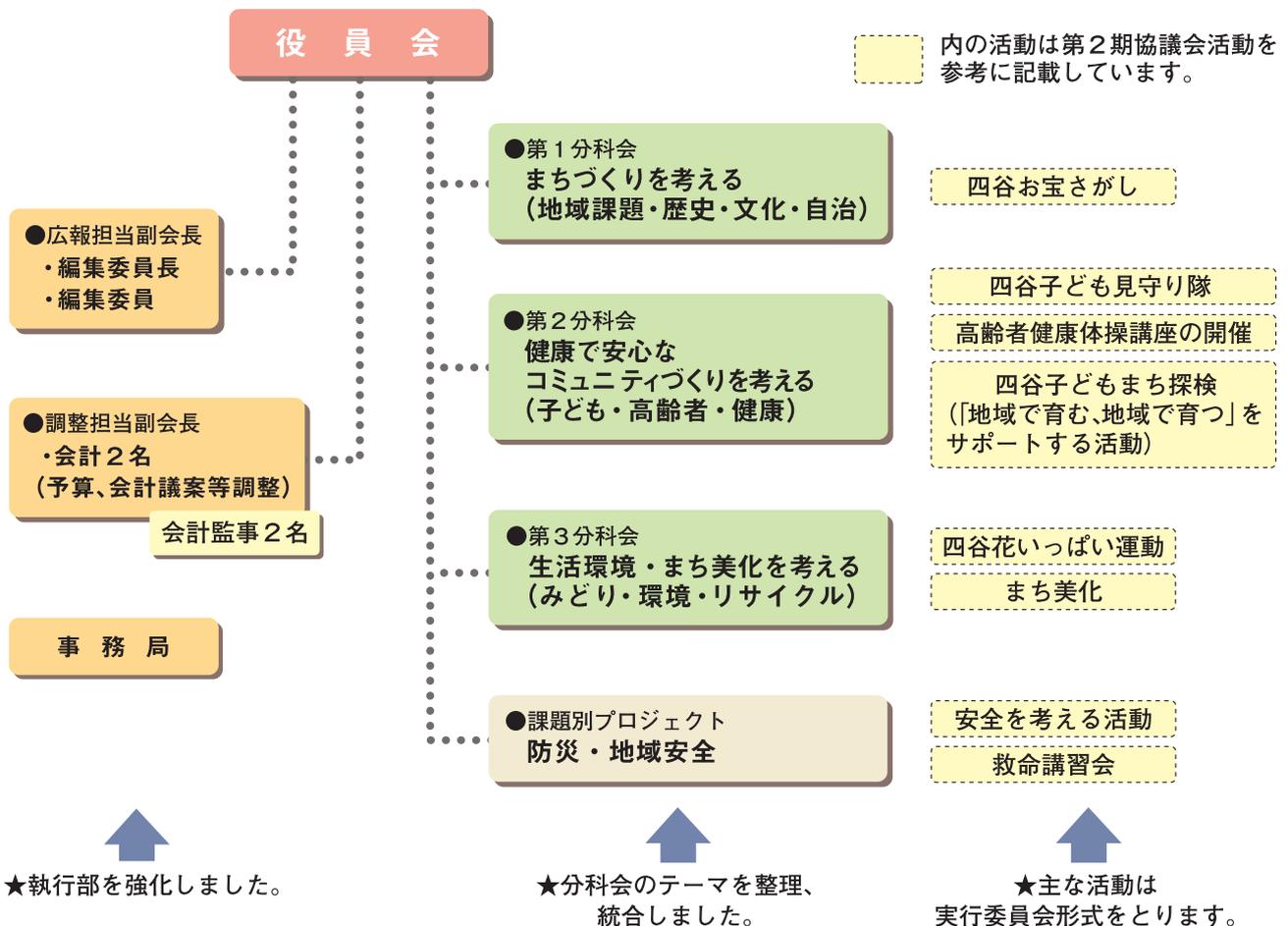


●「今のままでよい」が6割、「変えた方がよい」は1割強です。

アンケート結果については、地区協議会として真摯に受け止め、協議会内部で検討を行いました。その結果、より多くの方が参加しやすいよう、また活動の活性化を促進するため、**以下のような組織に再編をしました**。今後も地域の期待に応えられるよう、皆様のご意見を活用していきます。

第三期四谷地区協議会・組織構成図 (平成21年5月～平成23年5月)

委員構成 約 60名 団体 30名(町会10名 他団体・課題別20名程度) 公募 30名 ★公募委員を増やしました!



第3期四谷地区協議会では、
皆様のアンケート回答結果を踏まえ組織構成等を見直し、
新たに以下の特色ある構成を付加して地域活動を推進していきます。

特色① 実行委員会方式による活動

協議会では地域の皆様と一緒に活動していくことを大切に考えます。

- 「テーマを絞った活動」= 「〇〇実行委員会」
協議会委員以外の方も参加できます。
- 実行委員会は必要に応じて随時募集があります。

特色② 「広報担当」「調整担当」の設置

地域が一体となって四谷地域を支えていくためには協議会の情報を地域に発信する「広報」、
町会及び地域諸団体との連携と組織内の「調整」を大切に考えます。

広報担当

- 協議会広報誌を定期的に発行します。
- 他の団体と連携をとりながら、地域情報を集約しまとめていきたいと考えています。

調整担当

- 協議会組織の自主性の確立のための内部の調整役を担います。
- 諸団体との連絡調整及び地域のまとめ役を担う町会との連携強化を図ります。

特色③ 課題別プロジェクト「防災・地域安全」を発足します。

「防災・地域安全」は迅速に対応していくことが大切だと考えます。

- 明確な課題に対し地域の関連諸団体と連携し、シンポジウム、勉強会等を開催します。
- より多くの方が緊急時、対応できるように AED 操作方法、救急救命法の普及を継続していきます。

特色④ 公募委員の募集枠を増やしました。

たくさんの地域の方に参加していただきたく思います。

- 公募委員の募集を 20 名程度から 30 名程度に増やしました。
- 意欲を持ってご応募いただく方に活躍いただきたいと思っています。

公募期間 平成 21 年 3 月 16 日(月)～4 月 30 日(木) 応募用紙は四谷特別出張所で配布しています。

編集・発行 四谷地区協議会
事務局 新宿区内藤町 87 番地 (四谷特別出張所内)
電話 03-3354-6171
平成 21 年 3 月発行